こんにちは、**丹頂ガス㈱常務取締役 藤井 紀雄** です。

人事採用を担当しております！今回から私のストーリーをお届けします。

藤井紀雄

「入社前の私」

丹頂ガス(株)に入社し32年目となります。

私は斎木建具店の長男として生まれ、じいちゃん、ばぁちゃん、

親父、母、妹の6人家族、一代目じいちゃん、二代目親父、

三代目は、物心ついた頃から私だろうなぁと思っていました。

斎木家は、表に工場、その奥に自宅があり、親父と喧嘩している時だろうが、

初めて彼女を家に呼んだ時だろうが工場を通り抜けなければ、行けない家でした。

彼女と初デートの時「もってけ！」と言ってそっと私に5,000円をくれる親父

また、挨拶無しに、入ってくる友人に怒りつけ、「挨拶もできない奴は帰れ！」と言う親父

そこには、私や私の周りの事をよく知っている親父の存在がありました。

そんな私も、高校卒業の時期がやってきました。親父に、「卒業したらどうするのだ？」と聞かれ、

答えは一つ「家業を継ぐよ！」なんだか嬉しそうでした。「それなら丁稚奉行先を見つけとく！」

との返答でした。私は、家具作りの木工所に勤める事となり、親父は建具職人、私は、家具職人として

三代目を引継ぎ、後には一緒に一旗あげるぞ！意気揚々と期待を膨らませる私でした。

5年程経ち「仕事どうや？順調か？」やっと、仕事のことで語り合えるようになってきた頃、

親父が病に倒れこの世を去りました。まだ49歳でした。

20歳の私です！

親父へ

男同士の話をしたかった、仕事の話をしたかった、

喧嘩もしたかった、ぶっかり合いたかった、

親父同士語りたかった。

もう少しだけでも親父の背中を見たかった。